

江戸文化の開花 浮世絵・戯作・狂歌



江戸の街(鵜形蕙斎画 江戸名所の絵)法政大学江戸東京研究センター蔵



狂歌会の楽しみ 国立国会図書館蔵



狂歌師たち 江戸東京博物館蔵

徳川の開府によって都市としての建設がはじまった江戸において、独自の文化が華開いたのが18世紀なかばすぎのことでした。江戸文化を代表する「浮世絵」といって誰しもが思い浮かべる多色摺り木版画の技法が案出されたのも、現代のマンガのように挿絵をふんだんに用いた黄表紙などの戯作が流行したのもこの時代です。

大きな火山噴火や水害などの天災がありながらも、それを乗り越えて人気の絵師、作者、版元、さらには人気の歌舞伎役者ら、いわば文化的セレブリティたちが、老若男女こぞって興じた江戸狂歌の流行もあって、ジャンルを超えて花盛りとなったこの頃の文芸、文化の様相を紹介します。



講師プロフィール

小林 ふみ子 (コバヤシ フミコ)

日本近世文学研究者

法政大学文学部教授 法政大学江戸東京研究センター兼任研究員

主な著書：『天明狂歌研究』『大田南畝 江戸に狂歌の花咲かす』

『へんちくりん江戸挿絵本』他

2023年9月10日(日)

会場：守谷市中央公民館(もりりん中央)ホール

開演：午後1時30分(開場1時)

定員：350名迄 無料

最新情報は右記のQRコードから「映画・講演の会」のサイトで確認して下さい。

問合せ先 E-MAIL: s-shige@extra.ocn.ne.jp TEL: 090-7201-6293(重村)



★「映画・講演の会」のサイトの会員登録のページから会員登録して頂くと次回の上映会、講演会の案内等をメールでお知らせします。

主催／守谷市文化協会「映画・講演の会」 後援／守谷市教育委員会
協力／法政大学江戸東京研究センター

守谷市中央公民館は、つくばエクスプレス・関東鉄道常総線「守谷駅」から徒歩約8分です。駐車場は台数に限りがありますので、極力公共交通機関での来場をお願い致します。